

〇〇地区の宝調査集

〇〇宝物語

平成〇年 〇月〇日

〇〇団体名

「あなたの宝を一つ教えてください」

1. 3～5人グループに分かれテーブルを囲みます。
一人ずつ5分間、ご自分の宝一つについて、その理由をお話ください。

「宝」とは、あなたのふる里において、あなたがとおきの宝だと思うもの。既存の観光資源に捉われない環境、文化、歴史、産業、人、物、できごと、思い出等なんでも大丈夫です。

2. ほかの皆さんは、重要な部分について調査ノートに聞き書きします。書き方は自由です。
3. もう5分かけて、もっと詳しく知りたいこと、聞き逃したことなどを質問してください。
話し足りなかったこともお話ください。
4. 15分かけて右隣の方の宝について清書して提出してください。箇条書きなど書き方は自由です。
書き終わったら、右隣の方に見せて確認してもらいます。
修正点があれば直します。
5. 最後に提出された全員の分に表紙をつけてホッチキスで綴じれば小冊子「宝物語」が出来上がります。
自分の記録した用紙も綴ってお持ち帰りください。

(この用紙は1人1枚)

〇〇宝調査ノート

「あなたの宝を教えてください」

宝名

宝報告者

宝のある場所・持ち主

理 由

宝の未来について

〇〇宝調査ノート

「あなたの宝を教えてください」

宝名

宝報告者

宝のある場所・持ち主

理 由

宝の未来について

(この用紙は、3人グループなら1人1枚。5人なら一人2枚)

提出用 ○○宝調査ノート

「あなたの宝を教えてください」

聞き書き人

宝名

宝報告者

宝のある場所・持ち主

理由

宝の未来について

切り取り線

記入例 提出用 ○○宝調査ノート

「あなたの宝を教えてください」

聞き書き人 ○○太郎

宝名 朝日川

宝報告者 安藤竜二

宝のある場所・持ち主 山形県西村山郡朝日町

理由

安藤さんの原体験の場だった。
大朝日岳の頂上を源流とする神聖な清流。
川の中は魚達の別世界があった。
小さい頃は、近所のお兄さん達が細い流れをせき止めてくれて、天然のつかみ獲りを楽しんだ。
中学生になると、ヤスでカジカやヤマメを捕まえ、塩焼きして食べるのが最高の遊びだった。
大人になってからは、暑い日に、流れのゆるい淵の上流からプカプカ流される褌（みそぎ）が最高の癒し。

宝の未来について

残念ながらダムの下流はヘドロを流すようになって天然の魚はいなくなった。川遊びの子供達もいなくなった。昔のように様々な魚と子供が泳いでいる川に戻したい。

（この用紙は1人1枚）